

# グループ会社の山内紙器株式会社

## 「日経 MJ」に取り上げられました (1/17)

パッケージ、紙・段ボール製品の開発・企画・製造を行う山内紙器株式会社（京都市）に関する記事が、最新のトレンド情報をいち早くキャッチする日本有数のマーケティング専門紙「日経 MJ」の“新製品特集”の業務用コーナー（1月17日紙面）で取り上げられました。

記事では、山内紙器が従来から手掛けているプラスチックより軽量で組み立てやすい『ダンボールばんじゅう』が93色から選べるようになったことや、「使い分け便利」「清潔に使い続けられる」などの製品特徴についても紹介されました。

1月17日「日経 MJ」記事

■ 新製品 ■



**タイヤの直径9寸、広い道も安定走行**  
 キュリオ（岐阜市）の立ち乗りできる電動モビリティ「SCOO（スクー）XT 立ち乗り型」  
 最高時速は 5.5km/h。歩く速さとはほぼ同じで、視光地やテーマパークでの移動手段に向く。タイヤは直径9寸あり、整備が行き届いていない歩道や坂道でも安定した走行ができる。走行距離や荷物運搬にも対応。全長386×幅556×高さ1185。〔44万円〕

**注目の一品**




**渡嘉毛織**

**特**

外出時のシワ防止に役立つ「スムース」生地。自然にしみ出しに心配で外出が難しいM、L、XLの1万巻60円。主素材はタンを混ざらせたコットン。洗濯が楽。使ったことある人には気づく。今回の商品





**段ボール製食品コンテナ、93色に**  
 山内紙器（京都市）の段ボール製の食品用コンテナ「ダンボールばんじゅう」  
 プラスチックよりも軽量で組み立てやすい従来商品を93色から選べるようにした。使い分けに便利。交換できる内袋により、水漏れを防いで清潔に使い続けられる。全6種類。Mサイズの蓋無しは縦 603ミリ×横 403ミリ×高さ75ミリ。〔価格は要相談〕

**業務用**



**バイオマスプラを使った長繊維不織布**  
 前田工業の環境に配慮した自然由来の不織布「スプリットエコ」  
 原料の約10%にトウモロコシなど植物由来原料のバイオマスプラスチックを使用した長繊維不織布。燃焼時の温暖化ガスの排出削減や化石由来資源の節約につながる。一般包装材や食品包装などに幅広く使用できる。〔価格は要相談〕

**極細繊維プラスチック**  
 織工業の業務用のカメラとセンサーを歩行を実現。サイドブラッシュ繊維でできたブラシも開発。微小な粒子も除去する。カーペットや磁器タイルなど様々な素材に対応。本体は全長 521ミリ×幅 482ミリ×高さ 655ミリ。専用バッグの容量 6リットル。〔レンタルで月額 8万2280円〕

**段ボール製食品コンテナ、93色に**  
 山内紙器（京都市）の段ボール製の食品用コンテナ「ダンボールばんじゅう」  
 プラスチックよりも軽量で組み立てやすい従来商品を93色から選べるようにした。使い分けに便利。交換できる内袋により、水漏れを防いで清潔に使い続けられる。全6種類。Mサイズの蓋無しは縦 603ミリ×横 403ミリ×高さ75ミリ。〔価格は要相談〕